

変形性膝関節症



変形性膝関節症とは、加齢や外傷後の変化などで左のレントゲン像のように膝関節が変形して、疼痛をきたす疾患である。

治療はまずリハビリ・ヒアルロン酸の関節内注射などの保存療法を行います。症状が軽快しない場合は手術を行うことがあります。

当院では患者さんの生活スタイルと変形の度合いによって関節鏡・人工関節置換術などの術式を検討しています。

人工関節をすることにより○脚を矯正し下肢の正しいアライメントを獲得し痛みなく歩行することが可能です。

人工膝関節置換術



人工膝関節

当院では変形の度合いによって単顆置換型人工関節(UKA)と通常的人工関節(TKA)の2種類的人工関節置換術を行っています。

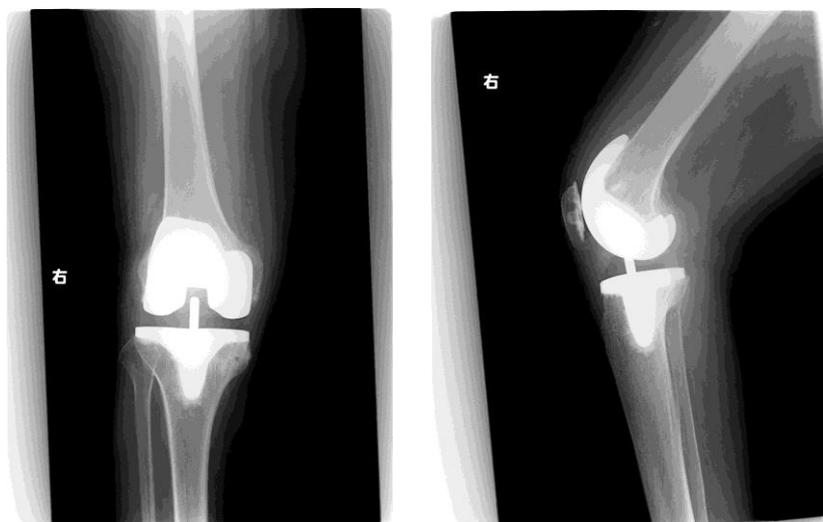
以前は人工関節は約10年で摩耗や破損が原因で入れ替えの手術が必要といわれていましたが現在では手術の技術とインプラントの進歩で入れ替えの可能性は低くなっています。

術後は痛みに応じて早期より可動域訓練・歩行訓練を始め、術後約3週間での退院をめざしています。



単顆置換型人工膝関節

人工膝関節置換術術後レントゲン



人工膝関節



単顆置換型人工膝関節